



桶川東中だより

☆☆令和7年度☆☆

桶川東中学校通信 No.1

発行：4月8日（火）

心のスイッチを入れて 新たなスタート

校長 吉田 由紀恵

校地の桜がちょうど満開を迎え、季節は春となりました。本日、165名の新入生を迎え、全校生徒465名で、令和7年度が始まりました。4月より桶川東中学校長となりました吉田 由紀恵（よしだ ゆきえ）と申します。55年の長い歴史と素晴らしい伝統を継承し、よりよき校風を生徒とともに創造できるよう全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の方々には、引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。本校生徒に伝えたいことを入学式・始業式での式辞に込めました。抜粋を以下に掲載させていただきます。

<入学式・始業式 式辞より 抜粋>

中学校は義務教育の最終ステージです。義務教育の義務はみなさんに課せられたものではありません。「教育を受けさせる義務」はあなたたちを育てているおうちの方への義務です。では、なぜ、みなさんは中学校で勉強するのでしょうか。

発展途上国では、教育は命を守り、貧しい生活から抜け出すために必要です。でも日本のような先進国では少し状況が違います。私は中学生が勉強する理由は、「自分の視野を広げて、大人になって社会に出るときに選択肢を増やすため」だと考えます。

世の中に出るために必要なことをたくさん勉強して、多くの経験を積んで、大人になり、自分の人生の選択をする時に、たくさんの選択肢のなかから自分がやりたいことを自由に選べるようにし、また、正しい判断ができる力を身につけるために勉強するのだと思います。みなさんには「教育を受ける権利」があり、教育によって分らないことを知りたいと思う好奇心の基礎が生まれるのです。

しかし、せっかく「教育を受ける権利」をもらっても、自主性がなければ、ただそこにあるだけで無駄になってしまうのです。自主性・・・東井義雄（とおい・よしお）さんは「心のスイッチ」という詩で伝えます。

心のスイッチ

東井義雄（とおい・よしお）

人間の目はふしぎな目 見ようという心がなかったら 見ていても見えない
人間の耳はふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いていても聞こえない
ほんとうにそうだ と、腹の底まで聞く人もある
おなじように学校に来ていても ちっともえらくならない人がある
毎日、ぐんぐんえらくなっていく人もある
今までみんなからつまらない子だと思われていた子でも、
心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる

心のスイッチが 人間をつまらなくもし すばらしくもしていくんだ
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし 暗くもするように

今日は、みなさんの心のスイッチを確認する日です。入ってなかったら、入れてください。スイッチが入ったらあとは、やるだけです。私はみなさんがこの桶川東中を巣立つ日に、もっとやっておけばよかったと後悔をしないように、今を生きてほしいと願います。中学時代を精一杯生きてこそ、活力に満ちた、夢を叶え、幸せな大人になっていくのだと思います。

昨日の式場準備、ありがとうございました。心をこめてみなさんが作ってくれたこの会場で、午後には第55回の入学式が行われ、165名の後輩が新入生として本校にやってきます。

465名での桶川東中学校の生活が始まります。この令和7年度が全員にとって実りある1年になるように願います。



おひらき

※ 学校だより、PTA広報誌、HP等、生徒の氏名、写真等を掲載させていただくことがございますが、ご了承ください。不都合がある場合は教頭までご連絡ください。（048-728-4461）

※情報メール登録のお願い・・・すでに情報メールのご登録にご協力くださりありがとうございます。また、登録がお済でない方には、ご登録をお願いいたします。本校では、欠席連絡の際にも、この情報メールを活用しております。なお、登録方法の詳細については、学校HPの「情報メール」のサイトをご覧ください。